

1999年9月6日

メルシャン株式会社
代表取締役社長
鈴木忠雄 様

日本アルコール問題連絡協議会

会長 上野 佐

<事務局>

中央区日本橋浜町3-19-3 ヲノ2ビル

アルコール問題全国市民協会内

☎03-3249-2551

FAX03-3249-2553

東京消費者団体連絡センター

事務局長 佐藤 正徳

<事務局>

中野区中央5-41-18

☎03-3383-7991

FAX03-3383-7840

「ごくごく飲める」シリーズへの抗議

貴社がこのたび発売された小型ペットボトルの「ごくごく飲める梅酒」「ごくごく飲めるレモン酒」をコンビニで見つけ、目を疑いました。

折しも、貴社とは小型ペットボトルの酒類の表示について話し合いを進めてきた経過もあるだけに、アルコール飲料の本質について基本的なことを貴社がまったく理解していないという事実に、深い失望を感じたものです。

言うまでもなく、お酒は、致酔性、依存性をもつエチルアルコールを主体にした飲料です。実際に、飲酒による障害は、急性アルコール中毒・飲酒運転・転落等の事故・肝臓障害など慢性の疾患・アルコール依存症など多岐にわたり、社会問題になっています。

そのため、飲酒にはさまざまなリスクが伴うという自覚を消費者がしっかりとつとめることが大切であり、製造物責任法の観点からみて、酒類メーカーにはこのような危険情報を消費者に知らせる責務があると私たちは考えています。

「ごくごく飲める」などという言葉が酒類の名称に使う行為は、このようなリスクに対する配慮をまったく欠いているものであり、無責任としか言いようがありません。これまでに、広告の文中に「ごくごく」という表現が入っているだけでも抗議の対象としており、削除していただいております。それを名称に使うなど、良識ある企業のやることではありません。

「ごくごく飲む」という言葉には、<早飲みする><たくさん飲む>というニュアンスがあり、それは急性アルコール中毒につながる危険な飲酒を促すものです。そもそも若者たちの間では、小型ペットボトルの清涼飲料をラッパ飲みするスタイルがすでに定着しており、この名称は、若者たちにそのスタイルを酒類にももちこむことを勧めることとなります。そして、ごくごく飲み干す「イッキ飲み」的な飲み方を助長することにつながるのです。

つきましては、このシリーズの名称を変更するか、または発売中止にするよう申し入れます。

どのような対処をなさるか、9月14日までに回答をお寄せください。

貴社が良識ある対応をなさることを、心より期待しています。

日本アルコール問題連絡協議会（事務局） 中央区日本橋浜町3-19-3 ヲノ21ビル
アルコール問題全国市民協会内 ☎03-3249-2551

＜加盟団体＞

アルコール問題全国市民協会（ASK）
アクション問題を考える会（AKK）
日本キリスト教婦人矯風会
日本アルコール・薬物医学会
日本アルコール関連問題リサーチ協会
飲酒運転に反対する市民の会
イッキ飲み防止連絡協議会
全日本断酒連盟
救世軍日本本営
国際グッドテンプレートズ
日本禁酒禁煙協会
日本禁酒同盟
アンスワール相互保険会社

東京消費者団体連絡センター（事務局） 中野区中央5-41-18 ☎03-3383-7991

＜代表委員団体＞

東京都地域婦人団体連盟
東京都地域消費者団体連絡会
主婦連合会
東京都生活学校連絡協議会
新日本婦人の会東京本部
東京都生活協同組合連合会

☆お問い合わせ先

主婦連合会（千代田区六番町15 ☎03-3265-8121）
アルコール問題全国市民協会（中央区日本橋浜町3-19-3 ヲノ21ビル ☎03-3249-2551）